

進路を考える会 議事録／国際・外国語系

Aさん：国際基督教大学 AO入試

Bさん：東京外語大学 国際社会学部 一般入試

Cさん：横浜市立大学 国際総合科学部 指定校推薦

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

回答 A: 2年次10月 リベラルアーツ、英語力、国際的

B: 2年次11月 国立でハードルは高いが学祭で行きたいと思った。学費の負担が軽い。

学費にかからない分を留学などの費用へ回せる。

C: 2年次夏 個性化なので国際教育は考えてなかったが、周りに刺激を受け国際分野に興味を持った

また、国公立なので 学費が安い。小規模でアットホームな感じもよく、通学にも近い。

- どのような入試形態でしたか？ AO入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

回答 A: AO入試。併願は受験していない。1次は8月の終わり書類選考、10月初めに結果。2次試験は10月中旬にグループディスカッション。10月末に結果。

B: 国立の後期試験。前期も受験した。1月センター試験。2月前期試験。3月後期試験。

併願は6校、内訳はセンター試験2校、センター試験と一般入試4校。

C: 学校推薦。併願は受験していない。9月中旬に校内推薦のために担任へ提出。1次選考結果が9月末翔鷗祭の次の日に校内推薦結果がでる。11月末の大学でグループ面接。12月初旬に結果が出る。

- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

回答 A: 通塾、1年次から1科目。受験対策としての通塾は2年次の2月から。

B: 通信教育を続けていた。2年次11月からは、センター試験での数学が必要だったので、中学の時に通っていた塾を再開した。

C: 1年の初めから指定校を意識した勉強をしていた。一般入試も考え2年次から3年次春休み前

- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？
- 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

回答 A: 1, 2年次はまず授業をしっかりと聞く。定期テスト1週間前から点数がとれるように勉強。塾で勉強よりは学校で勉強、塾は週に1回。3年次は塾での勉強がメインとなり、週4回。
参考書は、学校で使用した文法の参考書/または「チャート式」 読むのが大変だがしっかりやっておくと受験対策に有効。

塾での模試は1年次から。3年次で順位を意識し、間違った所は、次回の模試で点数を上げる。

B: 1, 2年次は部活が忙しく、定期テスト1週間前から部活が休みになるため集中して勉強した。2年次11月からは数学のみ通塾。3年次5月からは志望校の英語に特化した塾に週2回3コマ通塾。
2年次では冬センター試験模試。

C: 指定校を意識していたので、1年次から授業に集中、定期テスト2、3週間前からテスト勉強小テストも全力で取り組む。模試もいろいろな会社が主催する模試を受けた。(記述式、マーク式)分からない教科は学校の先生にとにかく聞いた。反省点として模試の復習をしておけばよかった。参考書は、「英語表現チャート式」(文法書)。模試は2年次から2、3か月おきに受けた。(記述式、マーク式)
模試は本番の試験になれるために受けていた。塾は週1回英語のみ1コマ。

● 神奈総の特徴をどう生かしましたか(単位制、履修科目など)

回答 A: 履修科目は2年次までに取り終え、3年次で受験対策の世界史を取る。神奈総の特徴でもあるフィールド科目例えばフードデザインなどを取る。教養を高め大学で生かしたいと思った。

B: 履修科目は2年次までに取り終えた。3年次で古典、世界史、コミ英Ⅲできるだけ英語に触れるために。フィールド科目は国際系を選択した。教養を高め大学生活で役立てるため。

C: 空き時間は図書室やフリースペースで勉強ができた。

● 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

回答 A: やりたいことを全部やりすぎないようにすること。2年次に忙しすぎて自分のやりたいことを全部やろうとした結果すべて中途半端となってしまった。取捨選択をしっかりとる。

B: 部活動は毎日あり休みがほとんどなかったが、隙間時間15分でもあれば、勉強する。行事があるときには勉強ができないのでその穴埋めをどこかでするようにする。

C: 部活と勉強の両立では、優先順位を決めて勉強をする。電車の中で単語を覚えるなどする。

- 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

回答 A: AO 入試は一般入試より簡単と思われがちだが、提出書類に将来を問われる。自分を知ることが大事。

そのためには大学で何が勉強できるのか考えるのが大変だった。受験での疲れはなかった。ON, OFFの切り替えが上手にできた。夏休みなどで休みがあるときは遊ぶ。

B: 3月までと受験が長期戦となり、まわりは結果が出ていても一人で受験勉強を続けていた。学校内でも早くから受験校を周りの人達にオープンにしていた。同じように目指している人たちと励ましあっていた。また、母が作ってくれたお弁当、夜食、家族や担任に相談し話をきいてくれたことで、精神的に支えてくれたことに感謝している。

C: 自分で決めた大学が、指定校としてあったことは、ラッキーだった。学校の成績と受験両方の勉強は大変だった。1年次は基準値いかないが、2年次3年次に努力し成績を上げていった。努力が自分に返ってきた。家族や先生の支えがあったことに感謝している。

- 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

回答 A: 入学前に神奈総と同じ感じかなと思っていたら全く同じ感じだった。キャンパス内は英語が飛び交いすごく楽しい。課題がすごく多いが、同じクラスの人と励ましあっている。1, 2年次は幅広く科目選択ができる。サークル活動も2つ参加

B: 専門分野に特化している。海外に出た経験がない人が多く励ましあっている。個人行動が多く神奈総と似ている。

C: 1年次に専門分野は少ない。2年次から専門的分野が増える。思ったほど帰国子女が少ない。海外行ったことのない人も多い。

- 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

回答 A: 1年次は行事を楽しむ。定期テストなどである程度2年次になるまでに基礎を作っておかないと最後3年次が大変になる。親がなにも言わなかったことが逆にプレッシャーとなり、勉強をした。1週間に一度午前中とかに自分にご褒美で勉強をしない時間を作った。

B: オープンキャンパスに行く。パンフレットとは違うのでキャンパスを見る。3年次のテーマを頑張る。テーマは時間を割く作業で面倒くさいけれど、ちゃんとやり通す。親はけっこう口うるさく言ってきたが、でもお弁当などを作ってくれた。

C:後悔しないようにする。やりたいこと、やらなければならないことをはっきりとする。親はあまり口を出さなかった。見守ってくれて相談すれば答えてくれ、親に感謝している。積極的にオープンキャンパスへ行く。

● 質疑応答

(1) 検定試験は、いつ頃に受けて入試に役立てましたか？

A: 英検 1 年次秋 2 級・3 年次夏準 1 級 理由は、かけはしプログラム選考会基準を満たすため

B: 英検 1 年次準 2 級・2 年次冬 1 級 理由は、自分のペースメーカーとしてまた、英語の勉強を増やすため

2 年次にはドイツ語検定

C: 英検 2 年秋 2 級 入試時のスコアが必要だった

(2) フィールド科目はたくさんとりましたか？

A: 国公立は希望していたのだが、数ⅡBをとるかどうかが迷ったが、学校生活の中で進路が変わるのはよくある。今は国公立への進路を迷っていても変わることもあるので、個人的には数ⅡBまでは取っておいたほうが良い。フィールド科目の制限は感じられなかった。

B: 数ⅡBは取らなかった。外大は数ⅠA・理科・公民で入試に臨める。1年次から国公立なら外大と選んでいたため、数ⅡBは取らないと決めていた。でも数ⅡBは取っていて損はない。

C: 1年次から3科目での受験でと思っていたので、数ⅡBは取らなかった。しかし大学に入って経済にかかわる科目では数ⅡBは必要だと思った。

(3) 3年次での単位数と空き時間の過ごし方について教えてください。

A: 22～24単位。空き時間は図書室などで勉強。また毎日朝7時に登校し、朝型の生活へ変えたことで、1日に費やす勉強時間が増えた。

B: 24単位。図書室やフリースペース又は1階のガイダンスルーム。午前は学校の授業、午後は塾。

C: 21～22単位。図書室やフリースペースなど。朝型の生活にし、毎朝8時に登校し1時間程度勉強。夏休みは、塾へ行っていなかったので学校の自習室、図書室など飽きないように場所を変えて勉強をした。

(4) ドイツ語の検定について、どのように取り組みましたか？

B: 日本人の先生が、今の在校生が受講されている先生と違うと比較できないが、ノートを作って単語

をひたすら書いていた。

(5) 1から2年また3年次の時の睡眠時間を教えてください。

A: 寝ていないと頭が働かないので睡眠時間は7時間。受験時は塾帰りが夜11時となるのですぐにお風呂に入って寝る。翌日の朝に勉強する。

B: 日付が変わる前には寝る。睡眠時間は7時間。朝型には完全になれず夜寝付けない時があった。でも、朝型に変えていくほうが良いと思う。

C: 睡眠時間が7時間。日付が変わる前に寝るようにしている。

(6) 神奈総は単位制なので、受験に対してのメリット、デメリットを教えてください。

A: デメリットを感じたことはなかった

メリットとしては、神奈総は受験科目の授業を自分の進路にあわせて選択できる。

B: デメリットは担任との関わる時間が少なく得られる情報が少なかったので各科目別の先生にいろいろな悩みなども含めアドバイスを頂いた。

メリットは時間割を自分の都合の良いように作れる。特に3年次は自分に合ったスケジュールで時間割が組めたことがよかった。

C: デメリットは感じたことがなかった。

メリットは自分が必要とする科目の選択ができた。ただ数ⅡBなど必要がないと思っても後から必要となることあるので注意をしたほうが良い。

(7) 大学までの通学時間はどのくらいですか

A: 1時間10分。神奈総に通学していた時より20分増えたがそんなに遠くは感じない。

B: 1時間30分。神奈総は近くでしたが、さほど遠く感じない。

C: 1時間弱。

(8) オープンキャンパスは利用しましたか?

A: 1年次の夏休みから参加していた。おおよそ10校。第1志望は2年次の夏。

3年次には受験を意識して模擬授業を受けた。第1志望校はぜひ受けることを勧めます。

B: 1年次夏・2年次夏と秋。3年次には志望校のみ。10校以上参加。

C: 1年次夏から8校程度。志望校は2年次と3年次には最終確認のために参加した。

オープンキャンパスはできれば早めに行くといよい。

以上

進路を考える会 議事録／法学・政治・経済

Aさん：上智大学・法学部・法律学科

Bさん：明治大学・情報コミュニケーション学部・情報コミュニケーション学科

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

回答 A:3年の5月に決めた。別の国公立と迷っていたが、国際色豊かで、グローバル教育の理念・カリキュラムに惹かれ最終的に上智に決めた。

B:2年の時大学を初めて視野に入れた。メディアに強い大学を希望し、先生から教えてもらった。教養豊かな人を目指し、色々な事が学べる点で選んだ。

- どのような入試形態でしたか？ A0入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

回答 A:一般入試。推薦は考えず。国語・日本史・英語の3教科。併願はセンター試験を利用。

B:一般入試。1年の頃から指定校推薦を考えていたので評定も頑張ったが、校内選考で残念な結果になった為、一般入試に切り替えた。最初から私立文系、浪人は考えてなかったのでレベル的に上から下まで万遍なく受けた。

- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

回答 A:2年の夏から焦っていたが、実際は10~12月頃。模試を受けた事がきっかけ。3年に入って本格的。

B:1年~3年夏まで部活漬け（放送部）で3年の7月まで受験勉強は出来なかった。1年から学校の補習目的で自習タイプの塾に通っていたので何とかあったのかも。3年夏に別の塾へ変更。（後述）

- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？

回答 A:塾も通信教育も利用せず。1~2年はテスト前しか勉強していない。学習リズムをつける為、勉強時間を記録するアプリを使った。学校で使っているものを生かして勉強する事が大切（単語テストなど）。日本史のお勧めは、東進一問一答。

B:1年からコツコツ積み重ね、復習より予習が中心。予習すると授業で理解出来て、復習は確認程度で済む。古典は3年夏以降やらなかったが入試の得点源になった。学校の授業中テストで覚えた。お勧めは、学研出版の漢文はや覚え即答法。入試の漢文はコツをつかむだけ。自習タイプの塾だったが、3年夏からは総復習・映像授業 20%対人授業 80%の塾へ変更。日曜日以外毎日通った。

● 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

回答 A:2年の11月頃から模試を受け始めたが、酷かった。それ以降は月に1~2回受けた。センター試験の練習、本番の形態に慣れるのが大切と思った。

B:1年冬のセンター試験同日模試が最初。その後3か月おきに主に東進の模試を受けた。学校経由だと安くなるので、学校から申し込むと良い。毎年センター同日模試を、3年夏から増田塾で毎月模試を受けた。

● 神奈総の特徴をどう生かしましたか（単位制、履修科目など）

回答 A:1限に授業を入れて生活のリズムを作り、午後には空き時間を作った。数ⅡBは大学の経済学で必要なので、取った方が良い。体育も運動不足解消の為、入れた。自分のスタイルに合わせて時間割を組めるので良い。

B:3年時は1限を入れて早起きした。3年後期は木曜LHRだけ入れ、それ以外は塾の自習室で勉強。3年では受験に特化した授業（〇〇研究）があるので、有効活用した。私立文系と決めていたが、数ⅡBも履修した。

● 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

回答 A:自分はあまり忙しい部活ではなかったが、1~2年のうちは部活や行事、やりたい事を頑張ると良い。

B:放送部で、行事の裏方の仕事が多く、忙しかった。文化祭も夏休みを潰して練習した。とにかく予習をしっかりとやって乗り切った。

● 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

回答 A:特にセンター試験は慣れが必要。沢山勉強したから点を取れるものではなく、模試や過去問題が大事。模試の成績が伸びず不安な時期もあったが、折れない心が大切。良い試練になった。家族の支えもありがたかった。

B:半年の勉強で合格出来、運が良かった。運も実力の内と言うけれど、基礎を固めることによって運を引き寄せた。英語が鍵。授業で集中していた為、古典に勉強時間を割かなくて良く、他の勉強に時間を割けた。日本史・世界史は暗記する時間がかかる事を覚悟して、1日15分など時間を決めて繰り返すと良い。毎日続ける事で効果がある。上位大学の場合、重箱の隅をつつくような問題が出る。

● 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

回答 A:大学は暇だと思っていたら、課題が多くて勉強出来ない程忙しい。通学時間も考慮して大学を選んだ方が良い。授業は楽しい。一つ一つの授業が神奈総のテーマ研究に似ているのできちんとやると良い。

B: 大学は忙しいのでバイトもサークルもやると大変。厳しいサークルに入ってしまった為、勉強時間を取られている。通っている学部は教養学部のようなもので、色々な事を学べる（英語・ドイツ語・音楽論・地史学・PC・日本文学・心理学など）。空き時間は図書館で読書、先生から聞いた参考文献などを読む。自分から学ぼうとしないとダメ。

- 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

回答 A: 神奈総の英語は大変だけど、耐えて頑張る事。模試で上手くいなくても、行きたい大学を目指して頑張る。

B: MARCH は人気校だが、周りはさぼったりする人も沢山いて、勉強する雰囲気ではない気がする。国公立大学は5教科7科目を勉強してきている学生達なので学力が付いている。本当に勉強したいなら、上位の大学を目指して欲しい。MARCH だからいいや…という感覚だと、入学後、後悔する。

- 質疑応答

<将来や学部を決めたきっかけ>

A: 初めは国文学部志望だったが、高校の授業で触れた法律に惹かれ、法学部に。

B: メディア系の会社に就職したいと小4から考えていた。今は、メディアを見張る側の職業を考えている。

<家族について>

A: 2年の頃大学の話は嫌だった。両親が地方の国公立訪問したのをきっかけに親子で真剣に話し合い、国公立ではなく私立に志望校を決めた。父に塾を執拗に勧められたのは嫌だった。センター試験で思ったような点数が取れなかった時、「もっととれると思った。」と、言われ嫌な思いをした。しかし、学費を心配することなく、行きたい大学に行って良いと言われて嬉しかった。

B: 神奈総に入る時猛勉強した為、高校入学後は「勉強しろ。」と、言われなかった。家ではゆっくり休むことを理解してくれていた。大学選びでは、親は就職や知名度を気にしたが、自分は有名大学にはこだわっていなかった。親と折り合いを付けるのは大変だった。育ててくれた両親には感謝しつつ、しっかり話し合うことは非常に大事。

<息抜きについて>

A: 受験期は志望大学を友人に話さなかった。周りが皆ライバルに見えていた。フィールド科目が息抜きになった。散歩。

B: 友人とは受験の話をしなかった。お昼ご飯を放送部の友人と食べるのが息抜きになった。家が安らぎの場だった。休憩は休憩…と割り切った方が良い。

<オープンキャンパス>

A：1年の夏に大学を見学。パンフレットのみで検討した大学もあったが、色々見た方が良かった。

B：1年時は行ってないが、2年の夏に7校ほど見学。オープンキャンパス当日は混んでいてあまり見られず30分で帰り、その後あえて平日に先輩に案内して頂いた。

<スマホとの関わり>

A：あまり使っていなかったが、3年になってLINEなどネットのアカウントを削除した。電源を切った。

B：塾の自習室はスマホ使用禁止だった為、携帯電話は家に置いてきて、勉強に集中した。3年になると他の人もSNSからいなくなったので反応が減り、自分もSNSアカウントは消した。LINEも家でのみ使用した。

以上

進路を考える会 議事録／人文科学系

Aさん：（女子）慶応大学 文学部

Bさん：（女子）早稲田大学 文化構想部

Cさん：（男子）早稲田大学 文化構想部

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

回答 A: 1年次に文系→大学を決めました
一般受験をするなら私立でトップの学校を狙いたかったので選びました

B: 1年次に立教か早稲田にと考えていました
小説家になるのが夢でしたので選びました

C: 3年の夏に進路を決定
宗教を学びたかったので決めました

- どのような入試形態でしたか？ A0入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのよう
うに選びましたか？

回答 A: 一般受験 センター利用入試 早稲田、立教も受験しました

B: 指定校推薦でした

C: 一般受験 センター利用入試
明治（先生からのお勧めで）と法政（過去問の相性が良かった）も受験しました
私立でもセンター入試が出来れば利用すると良いです（お勧め）

- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

回答 A: 2年の冬から（12月頃）です

B: 3年の4月からです

C: 3年の4月からです

- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参
考書はありますか？

回答 A: 2年から駿台予備校に週2で通いました、3年の秋から15年分の過去問を解きました（2回）
間違った所はもどって繰り返す、苦手な科目を克服する努力は必要

お勧め参考書

1. Next Stage（桐原書店）
2. Rise 英語演習（Z会）
3. やっておきたい英語長文1000（河合塾）

B: 3年から週2回塾に通いました、1年からコツコツとやりました

- お勧め参考書
1. 古典文法トレーニング (河合塾)
 2. 極める 古文 (東進)
 3. 英文法レベル別問題集 (東進)

C: 3年から塾に通いました、問題は数よりもひとつひとつ深く繰り返しました
僕は男ですが女子大の問題集は質が良いのでやってみました
問題集は数を増やさず徹底的に、赤本はガイダンスルームに沢山あるので活用して下さい
お勧め参考書 1. 世界史一問一答 (東進ブックス)

● 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

回答 A: 2年に東進高校生統一模試と3年に全国模試、河合塾の早慶模試などを受けました
自分がどの位置にいるのか知る良い機会です
結果がでる前に見直し、結果がでて見直し、3ヵ月後に再度見直ししました
解答、解説を良く読みました
B: 2年の終わりに初めて受けました、間違い直しをしました
C: 2年の冬にセンター模試、河合、駿台マーク模試
直後に自己採点をして確かめ、結果が返ってきた時はそれを参考にしました

● 神奈総の特徴をどう生かしましたか(単位制、履修科目など)

回答 A: 1年次に私立文系に決めていたのでそれに沿って時間割を組みました
空きコマの時間は学校で勉強していました
B: 学校でなるべく英語にふれるようにしました、国語、英語は演習科目をとりました
3年も興味のある科目はとりました
C: 朝が弱いので午前中に授業をいれました、生活リズムを崩さないようにしていました

● 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

回答 A: M&D ワールドカフェ
勉強の為にやりたい部活や委員会を犠牲にしない、部活や委員会を一生懸命という事は
勉強のほうにも一生懸命だと思います
忙しいほうが時間の見つけ方が上手になると思います
B:
C: 剣道部

● 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

回答 A: 辛い1年でした
大学に行く意味を考えました
B:

C:

- 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

回答 A: 文学部 人文社会学科 (慶応)

2年から17の専攻にわかれます

図書室が大きく、学習環境が良いです、皆意欲が高く積極的に発言出来ます

有名な池上彰さんの講演があります

神奈総で第2外国語を勉強した事や経験が役に立っています

B: 文化構想学部 (早稲田)

小説家志望の人が多いですが、映像や音楽方面の人もいます

文字を書く事を求められる学部です

神奈総ではフランス語を習い、今はドイツ語を習っています、神奈総でやってきた事が活かされています、今とても楽しいです

C: 文化構想学部 (早稲田)

第2外国語は神奈総と同じく中国語を選びました

宗教学を学びたかったので勉強が出来良かったです

教員免許をとりたいと思っているのでその為にとっている科目もあります

神奈総での英語の授業の方が活発だったと思います

- 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

回答 A: 最後の年を実りある年にする為に1, 2年からひたむきに頑張りましょう

受験を乗り越えれば、その後の学生生活、人生にプラスになると思います

神奈総生はいろいろな目標を持っている人がいるので刺激を受けます

色々な進路選択が出来ますが自分の目指すものを極めてほしいです

神奈総生であることに誇りをもってほしいです

B: 進路については良く悩んで自分の事を知りましょう

入試問題との相性を見極めましょう、それぞれの大学が求めているものがわかります

C: メリハリをつけて生活勉強しよう

残り何ヶ月でも楽しめる日は目一杯楽しもう

以上

進路を考える会 議事録／栄養・看護

Aさん: 県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 一般入試

Bさん: 横浜市立大学 医学部看護学科 指定校推薦

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

A: 1年の終わり。テーマ研究で興味を持って。料理が好き、糖尿病の祖母の影響、自身の入院生活での管理栄養士との出会いで医療系に特化した栄養学科を志望。

B: 1年の夏にオープンキャンパスに行き、2年後期で看護科に決定。中2の時に受けた子宮頸がんワクチンで副作用が出たことがきっかけ。国際系にも興味があったので、国際系と看護の両方を学べる市立大を志望。
- どのような入試形態でしたか？ A0入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

A: 指定校推薦（1校1学部で1人）に落ちて一般入試に切り替え。併願校は、スカラシップや学費の安い学校を探した。

B: 指定校推薦。平均 4.5 以上あった。センター試験は、どれだけ点数がとれたかの報告のためだけに受験した。（合格点の基準はない）
- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

A: 部活（シフォン）引退後の3年夏から。オープンキャンパスには2年で行った。

B: 1年から指定校推薦を考えて、春から通塾。2年後期に進路決定して、指定校推薦とセンター試験の勉強を始めた。
- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？

A: 通塾なし。指定校推薦狙いの勉強をしていたが、1、2年の勉強で基礎は固めた。参考書中心で、教科書も最大限に利用した。

B: 1年春より通塾。塾おすすめのネクストステージ、学校教材の4ステップ、教科書も利用。
- 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

A：実戦形式の模試は定期的に活用。学校の情報をチェックして調べた。模試は自分がどのあたりにいるかや苦手を知る地図みたいなものと考えていた。

B：塾の模試を受験。私立も考えていたので、どこの大学に行けるかがわかる。

- 神奈総の特徴をどう生かしましたか（単位制、履修科目など）

A：フードデザインや食文化など、栄養学に特化した選択科目は推薦の面接で役立った。

研究科目は入試に対応している（過去問など）ので、入試対策ができる。

英語のレベルが高いので、大学に行っても自信になった。

B：国際文化だったので、単位数に縛りがあり、受験科目とのバランスが難しかった。3年間フルで履修し、研究科目で理科を取り、あとは塾でフォローした。

- 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

A：6月の大会まで部活に集中した。やるなら何事にも一生懸命がいいが、優先順位をつけることが大事。

勉強第一！勉強をする癖だけはつけておくとよい。

B：入学後にテニス部に入部したが、勉強との両立が難しく休部、その間にアメリカンパートナー校交流に行き、結局退部。勉強中心だったが、夏だけ期間限定のよさこいには参加した。

- 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

A：1，2年で基礎をしっかりやっておけば応用は早い。指定校推薦に落ち、センター受験まで1か月半しかなかったが、対応できた。受験は予想外のことが起こる、絶対はない。

1年では進路は探り探りだったが、イギリスのパートナー校に行ったことで視野が広がったのは確か。

B：指定校推薦と決めていたので、学校の成績を重視して1年から頑張った。2年生までに必修履修を全部取るほうが良い。推薦のボーダーは4.0、でも4.3はざらにいる。自分は4.5あったので自信が生まれた。

- 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

A：チーム医療（NST）で福祉施設に実習に行っている。社会形態や精神基礎などを学んでいる。

白衣を着て実験をし、データを取っている。スキルを身につけられる。

理系だけでなく、歴史や心理学や語学も学んでいる。将来何が役に立つのかわからないし、楽しい。

入学前に学校のことを調べていたのでギャップはあまりないが、他学科との交流は自ら求めないと難しい

ことが分かった。

神奈総の栄養学と英語のレベルが高いことを実感した。

B: 医学科の学生と一緒に授業を受けている。医学科と看護科は根本的な考えが違うので、医学科の考え方を学べるのがよい。

市立大は TOEIC 600 点以上、TOEFUL 500 点以上ないと進級できない。

高校で部活ができなかったのが大学で野球部のマネージャーをしているが、医学科の学生は時間の使い方が上手いという感想。18時～20時部活をした後、24時間空いている図書館でそのまま勉強する。

神奈総で学んだ英語と生物がとても役立っている。神奈総で学んだことを活かして楽しめている。

- 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

A, B: 大学でどんな勉強をしているかを知りたかったら、大学の教授がやっている一般講座を受けてみると良い。オープンキャンパスはもちろん、公開していない普通の大学の様子を見に行くと良い。

同じ学科でも大学によって少しずつ内容が違うので、ちゃんと調べたほうが良い。

継続的な勉強が必要！

- 質疑応答

Q 卒業後の進路は？

A: 医療系に特化した栄養学科なので病院が多い。一般的に栄養学科は一般企業（食品メーカー等）の商品開発や、市の職員もある。小中学校で食育に携わる職もあるが、募集人数が少なく倍率が高い。

専門学校2年で取得できる栄養士は、調理系が多い（学校給食など）。

管理栄養士は栄養士の資格と2年以上の実務経験も必要。合格率は45%と難しいが、我が校では95%以上の合格率を誇る。合格率の高さも大学を選ぶ基準になる。

B: 卒業後の進路は、附属病院（阪東橋駅・横浜市立大学附属 市民総合医療センター）への就職がほとんど。

他は地方に戻って就職する人も。

国家試験はレベルに達しないと受けさせてもらえないが、ちゃんと学校で勉強していれば取れる。

以上

進路を考える会 議事録／美術系

Aさん：東京藝術大学 デザイン科

Bさん：多摩美術大学 情報デザイン学科

●進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください

A：1年次の夏に美大に行く決め、3年次の夏に藝大と決めた。自由なところが神奈総と似ている。

B：1年次で美大希望、3年次の4月に第一志望を決めた。現役で入れることと就職まで考慮して選んだ。

●どのような入試形態でしたか？ A0 入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

A：A0はなくセンター試験。2月後半に実技試験があり、1次は、鉛筆デッサン（石膏像、構成モチーフ）

2次は、色彩構成と立体構成

B：一般とセンター利用とある。自信のある人は、センター利用

一般は、絵具とデッサン、英語、国語の筆記試験（英語はリスニングなし）

併願校は受けず、同じ大学の中で複数の学科を受けた。

●具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

A：2年次の春から予備校に週1回、3年次の春から毎日通う。学科は、学校の授業に専念。模試を受けた。

B：3年次の春から美大の予備校（私立デザイン科専門）に通う。センター試験対策は、神奈総の授業のみ

もっと早くから予備校に通う人が多い。

●どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？

A：予備校で石膏デッサンや、粘土で立体モンスターを作る等。3年次からは、毎日夜通い、夏休みは、昼間の時

間に上手な浪人生と一緒に描いた。冬になると朝9時から夜9時まで一日いることもあった。

学科は、模試を受けたり、過去問を解いた。

B：模試や、過去問を解いて勉強した。建築とデザイン科はきちんと勉強した方がよい。

●アトリエ（予備校）を決める基準は？

A：帰りが遅くなるので家から近いところにした（隣の駅）。環境よりも自分が取り組むことが大事。

B：近いところで定期券の範囲で決めた。予備校には過去の実績があり、大事な情報源になる。

●模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

A：学科と実技も受けた。実技は、年1回9-11月頃にあり雰囲気味わうために受けた方がいい

大手予備校コンクールには、全国から100人くらい集まり浪人生の作品も見れて様子がわかる

B：模試は受けていない。夏には、予備校内（70人くらい）でコンクールがあった。コンクールは、いつものよ

うに先生が声をかけてくれないし、壁にも何も張っていないので、雰囲気が違う。コンクールで良い成績をとっても、本番の結果に繋がるわけではない。

●神奈総の特徴をどう生かしましたか（単位制、履修科目など）

A：美術の科目がたくさんあり、17期は美大志望が多かったので、普段開講されない科目（水墨画とか）を友人と申し合わせて受けた。空き時間は、図書館で写真集を見たり、4ヘコや空き教室で勉強した。

B：1, 2年次に必修科目を履修、3年次は、美術と必修科目の体育をとり、受験勉強の為に時間割を少なめにした。美術史は大学の先生の授業が受けられる。月曜日は全空にして予備校に行った。フリスペでは集中出来ないの、予備校に行き気持ちを切り替えた。

●部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

A：3年次は、毎日予備校通いで忙しくなるが、行事も全力でやった方がいい。スポ大のTシャツデザイン、パネル作成、翔鷗祭のポスター、新歓の広報委員長等をやった。

B：1, 2年次は、部活、イベントすべての装飾係に入っていた。人数が少なく大変だったが、やってよかった。

美術部も楽しく、2年次は部長になった。3年もスポ大のパネル、翔鷗祭の展示などやった。

行事は参加しないともったいない。

●受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

A：人生において、こんなに集中することはない。一般のマークシート回答ではなく、作品は、自分がもろに現れる。自分と向き合うことになる。現役の時は、がむしゃらに進んだ。17-20歳は、自分について考えた

貴重な経験となった。

B: 第2志望で入ったが、やらなかつただけ後悔はある。あの時、もっと頑張っていたらと自分を責めてしまう。

受験は出された課題をやって精神的にもつかれる。作品が受け入れられないとなぜか？

美大受験は、勉強だけではないので、作品を作っていたら見守ってください。

●親にしてもらってよかったことは？

A: ご飯を作って洗濯をしてくれて感謝している。予備校には、アルバイトをしながら大変な人も来ている

B: そばで見守ってくれるだけでいい。応援してくれたら充分。

●受験の妨げになるものは？

A: ツイッターは、3年次になったらやらないと決めた。TVもあまり見ない。今だけ我慢と決めた。

画材代は自分で負担する為、アルバイトをしたが体力的にも限界。

B: カラオケ（白楽にある）の誘いと、スマホ。スマホは情報収集にもなるので、自分で使い方を決める。美術系の展示には行った方が良い。

●大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

A: 予想以上に自由。デザイン科には、プロダクト、グラフィック、映像等、41人が集まっている。課題も自由で充実。人数が少ないので教授、助手とも仲良くなれる。隣の動物園の猿の鳴き声が聞こえてくる。

B: 入学時はデッサンをしていたが、入ってみると情報系の学科だった。フォトショップやイラストレーター等、やっていることが違うので拍子抜け感あり。また、意外に不真面目な人が多いので、流されないようにしたい。

●現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい

A: 「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」という孫子の言葉がある。相手（教授）が何を求めるのか考え、自分の長所短所を知り、作品を作れば大丈夫と考えた。美術には、正解がない。予備校の先生も正しいわけではない。自分の軸を大事にすること。

B: 大学に入ることをゴールにしないで。大学に入ってやっとスタートライン。大学に入って何をやりたいか考えて大学を選ぶ。予備校によって、言うことが違うから何か言われても気にしすぎない。試験本番は、

頭が真っ白になる。どこかで本気にならないと結果は出ない、早めにスイッチを入れる。デザインは、考えることが大事。世の中に向けての仕事なので、自分の中だけで作品を作ってはダメ。オープンキャンパスに行って早いうちに情報収集をすると良い。

【質疑応答】

●美術の教師になりたいが、必要なことは？（生徒）

A：藝大では、教職は、比較的簡単にとれるらしいです。

B：教職の課程があるが、課題が大変らしい。卒業の為の単位数に入らないので厳しい。

教職に絞るならば、実技試験不要の学科もある。

先生：教職になる為に必要な単位数をとるが、私大と藝大とで違い藝大は取りやすい。他の大学でも取れるので幅広く検討を。

●学科を決めた時に、将来のビジョンを持って決めたのか？（生徒）

A：デザイン（広告）関係と決めていた

B：私はとりあえず授業内容を決めて、それが自分に必要かどうか見極めた

●Aに質問ですが、浪人して2年頑張ったのは、並大抵のことではないと思います。メンタル的にどのように保っていたのか聞かせてください（保護者）

A：予備校の先生からは、メンタルが弱いと言われた。気分がのらない時には無理してやらない。予備校に行かずに学科の勉強をした。学科は、正解があるのですっきりする。他に、好きな写真を撮りに行ったり、予備校の仲間と話をするなど一緒に過ごした。日本で1番の美大であること、ここまで頑張ったからには、「絶対に藝大に行く！」と決めて頑張った。時々、私大に入っておけばよかったのでは…と思ったこともあったが、やはり藝大に入って良かった。

以上

進路を考える会 議事録／音楽・舞台芸術

Aさん：桐朋大学 音楽学部 作曲コース

Bさん：日本大学 芸術学部 演劇学科 演出コース

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

回答 A:音楽が好き。それを仕事にして食べていきたい。大人になったときの自分を想像して進路を決めた。

B:大学に行かせてもらえるなら好きなことを仕事にしたかった。演劇を専門的に学ぶところしか考えないようにして、そこでがんばろうと自分にプレッシャーをかけた。

- どのような入試形態でしたか？ A0入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

回答 A:別の大学を専願で受験したがセンター試験の一次試験で落ちてしまった。併願校は自分が学びたいことを学べる大学を探した。その結果、現在は併願校に通っているが満足している。併願校は、一般の後期入試。

B:高校2年の夏に大学のオープンキャンパスで体験授業を受けた。そこで聴いた話に興味を持って、進路を決定した。A0入試も受験したが失敗した。その後一般入試で合格。併願校は第一志望と同じ事が学べる多摩美。

- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

回答 A:気づいたら受験が終わっていた。スイッチが切り替えられなくて勉強をしなかった。小論文の対策として、毎日一つのテーマについて書いたり、考えたりしていた。楽器の練習と同じ様に、小論文対策も日々の積み重ねが大事。

B:あまり勉強をしなかった。芸術系なので実技や小論文に目が行くが、筆記試験が出来た方が実技の試験の時にプレッシャーが少なくて済んだと思う。

- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？

回答 A:センター試験を受けたので、その対策として普通の学習塾に通っていた。また音楽の専門の先生についていた。音楽系の大学は専門の知識が無くても入れる学校と、知識が無いとついていけない学校がある。

いずれにせよ和声と楽典はやっておいた方が良い。専門の塾もあるが、音楽担当の先生にまず聞いてみるのが良い。高2の夏から始めれば十分間に合う。

B:その学部の受験対策の予備校があったので通っていた。そこで小論文と面接の対策をした。

また、高校演劇だけでなく本物の演劇を見るべき。またジャンルもミュージカル、歌舞伎、ストレート劇など、色々なジャンルに触れておくべき。自分は物語を書く練習や面接の対策を重視していたが、日常の勉強もした方が良かったと反省している。特に英語はどんなジャンルに進んでも必要になるので勉強した方が良い。

- 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

回答 A:ない

B:ない／しかし勉強をして模試を受けて活用すべきだったと思う

- 神奈総の特徴をどう生かしましたか（単位制、履修科目など）

回答 A:3年間自分の好きなことを思い切り出来た。10階に通っているうちに「音楽はいいな」と改めて思うようになって自分の進路を見つけることができた。神奈総には、自由に作って発表できる場がたくさんあったのに、自分はそれを活用できなかった。自分の進む音楽の道は人脈が大切で、この学校で音楽だけで無く色々なジャンルで活躍してゆく幅広い人脈を作ることが出来た。

B:午後の空き時間を利用して舞台を観に行くことが出来たり、アルバイトをすることが出来た。

またアーティスト的な仲間がたくさん居て刺激的だった。

- 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

回答 A:高1の夏まで運動部に所属していた。その後は10階でやっているコンサートに（有志団体）参加したり、デザ部に参加したり、スポ大の団長をやったりした。つい参加しすぎてしまうので、周りに迷惑をかけないように参加するよう自分で気をつけていた。

B:サッカー部とESSに参加していた。楽しいけれど、コントロールできる範囲で参加するようにしていた。受験勉強とメリハリをつけて出来ることは参加したほうが良い。

- 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

回答 A:悔しかった。もっとやれたはずなのにと後悔している。努力をしきれなかった。第1志望の受験に失敗して、はじめのうちは大学生活に失望していたが、今は大学の授業や勉強が充実しているので後悔は無い。併願校を自分が勉強したいことが出来る学校を選んだ事が成功だった。

B:今思うと、楽しかった。実技は特にマイペースでやれたと思う。

- 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

回答 A:自分のイメージより規模が小さかった。でも、人数が少ないので、ひとりひとりにより多くの時間をかけてくれて満足している。しかし、付属校から上がってきた人が固まっていて、今はあまり友人が出来ていない。

B:埼玉に校舎があって思っていたより不便でずっと田舎だった。理論も実践も授業が楽しい。現役で活躍している先生の話しが聴ける。学生の熱量が想像以上に熱い！

- 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

回答 A:高校時代は人生に於いて貴重な3年間。受験も青春の1ページ。

ピアノ以外の人もピアノは出来る方が良い。特にハノンのスケールは絶対に必要。また、色々なジャンルの音楽に触れる事が大事。

B:自分の後悔の無いように進路を決めるのがイチバンだ。

高校時代にやりたいことをやって過ごして、その道が向いているか、向いていないかをよく考えて見定めていけば良い。自分は「食えない世界」とわかっていてもその道に進んでいる。

< 質疑応答 >

- 親に言われて辛かったことは？

A:両親はサラリーマンなので抵抗がある進路だった。でも親に賛同してもらえないと自分も不安になっ

てしまう。家は帰る場所なのでこどもを信じて欲しい。

B:親が同じ道なので理解がある。でも友人には親に理解してもらえず大学を続けていくのに苦労している人が居る。

● 専門的な塾は必要か？

A:高校の授業をしっかり理解できていれば希望の大学のセンター試験は難しくない。神奈総の先生は質問をするときちゃんと答えてくれる。もし難関校を受験する場合は必要かもしれない。

B:自分は通っていたが、いま大学にいる人は塾に通っていなかった人もたくさん居る。

● 将来に不安のある道だが、それを乗り越え進路を決められた理由は？

A:今も不安である。これから先も乗り越えられないだろう。お金もかかるので親の賛同を得られないと進めない。切り捨てられたら終わりの世界だし、自分に自信は無いが、芸術の善し悪しは（自分の実力とは限らない）他人の感性と割り切っている。今、活躍している人へのあこがれ、音楽が好きという自分の気持ちを大切にしている。

B:食えない世界であるとわかっているが、自分は「もっと演劇を広めたい」という想いがある。現実的に言えば、このご時世、どこの道に進んでも、普通に就職をしても、（不安定さは）変わらない。食えないことに関しては、親は全く心配をしていなかった。

以上

進路を考える会 議事録／理系

Aさん 東京理科大学 理学部第一部 数理情報科学科

Bさん 早稲田大学 基幹理工学部 学系 I

- 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

A: 高2 夏にオープンキャンパスに参加し、先輩の様子や施設などを実際に見て決めた。

B: 理系に進むことは中学の頃から決めていた。高校生活の中で、理系の中でも数学に進むことを決めた。学部は高2に決めていた。大学は親や先生の意見も聞き、ギリギリに決めた。

- どのような入試形態でしたか？ AO入試、センター試験など、何を利用しましたか？ また、併願校はどのように選びましたか？

A: 一般入試のみ。センター利用なし。私立を英語、数学で受験。過去問を解いてみて、点数を見て、押さえやチャレンジ校を決めた。全部で計8か所受験した。

B: 一般入試のみ。国立1校、私立2校を受験。親は国立でも私立でもよく、浪人してもよいと言われていたので、本当に行きたいところだけ受験することにしていて、それが自分のやる気を高めると思っていた。滑り止めは受験していない。

- 具体的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

A: 高2の冬から予備校に行き始め、本格的に受験に取り組んだ。高3からだと言われをとると思った。

B: 高3の夏休みが一番本気だった。高2までは学校の定期試験を頑張っていた。

- どのような勉強方法でしたか？ 塾や通信教育を利用しましたか（週にどのくらい）？ また、おすすめの参考書はありますか？

A: 予備校が映像授業形式だったので、興味ある先生の授業を体験してから実際に取った。忙しいと週1、時間があると週5くらいは予備校に行っていた。自習室も利用していた。映像授業は自分のタイミングで勉強が進められるので忙しい人にはおすすめ。予備校の予習と復習をしていた。特に予習に時間をかけていた。数学は解答を見ないで自力で時間をかけて実際にペンを動かしながら解くことで力が付いたと思う。

おすすめ参考書：

英語…「今井の英文法教室（上下）」（今井宏）東進ブックス、「福崎の英文読解—勝利のパラグラフリーディング」東進ブックス、「英単語ターゲット1900」

数学…「数学O・高速トレーニング（シリーズ）」（大吉巧馬）東進ブックス、「2016 実践数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・ⅢAB（理系）」数研出版

物理…「物理のエッセンス（力学・波動、熱・電磁気・原子）」（浜島清利）、

B: 予備校や通信教育は利用しないで自宅で勉強していた。（あとになって考えてみると、進路の情報や、周りから刺激をもらうという目的で予備校を利用するのもありだったかなと思った。）数学は1問に1～2時間かけることもあり、自分の力になった。量をこなす勉強の仕方もあるが、1問に時間をかける方法もある。数学は私立とセンターでは攻め方が違うので個別に対策した。じっくり解く私立、たくさんスピーディに解くセンター。理科は私立の2次試験対策をしているとセンターが楽。英語はセンター問題を何年分もやって、傾向を見極められるようにした。

● 模試を受けましたか？ 模試をどのように活用しましたか？

A: 予備校で模試が決められていたのでセンター模試6回、難関レベル6回受験した。模試の点数が上がれば学習方法が合っていると判断。芳しくなかった場合は、間違えた分野を徹底的に分析し、苦手をみつける道具として利用した。学習方法の修正にも利用。時間配分の調整、緊張感を体感する機会としても利用。模試で間違えた問題について、知識不足だったのか、あるいは時間不足だったのか知るため、市販の模試を時間をかけて解くということにも取り組んだ。

B: 学校案内の模試を受験した。駿台模試のハイレベルを受験し、打ちのめされたので、勉強できていないことを認識し自分に危機感を与えるツールだったと思う。当日の緊張感を体験し、場慣れ（知らない場所、知らない人たち）をするためのツールにもなる。受験したその日のうちに見直しをした。（受験した意識が残っているうちに。）

司会の先生より「模試の見直しの大切さの話が出たが、まさにその通り。明日から返される中間テストの見直し、復習も行うべし！」

● 神奈総の特徴をどう生かしましたか（単位制、履修科目など）

A: 1年次は必修科目中心。2年次には理系に進むと決めていたので、国語系の科目は履修しないで理系に専念。国際文化コースだったので、英語の必修が多く必然的に英語に触れる時間が取れていた。英語の授業の中で文系の生徒と積極的に交流し、英語の苦手意識をなくすように工夫。授業で自分にプレッシャーを与えるようにし

た。3年次のクリエイティブライティングでは宿題を通して文法の知識を付けた。個性科の人も英語の授業を取るべき。3年次は午後に授業を入れず、塾に行くようにしていた。

B: 空きコマは図書館にこもって勉強するという習慣を1年次から続けていた。他校には空きコマというものがないので、そこで遊んでしまうと差がついてしまうと思っていた。履修計画について、1限目は必ず入れた方が時間が有効に使える。(1限目がないと寝坊する確率大!)同様に午後も空けてしまうと無駄に過ごしてしまうので、意識的に1限目と4限目を履修して、空きコマは図書館で勉強というパターンを作った。履修科目について、理系科目は自習できるので、文系科目、自分で勉強しそうな科目を意識してとった。まるで文系のような履修内容だった。(推薦入試を考えている人には勧められない方法)

● 部活動や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

A: 部活動は陸上部。週1の朝練だったので、午後の勉強には支障なし。行事はスポ大の団長もやった。決めることなど多くて忙しく、勉強時間が減ったが、神奈総ならではの行事なので、自分のモチベーションのためにやった。翔鷗祭もスポ大の色で屋台を出し、積極的に楽しんだ。行事後、勉強時間を取り戻す意識で頑張った。メリハリをつけることが大事。

B: 部活動はしていなかった。スポ大、翔鷗祭には積極的に参加。行事との両立は得意ではないので、行事の時にはそれに専念。終わってから勉強とメリハリをつけていた。振り返ってみると、行事の多い前期の方が成績が良かった。忙しい時の方が集中して効率的に学習していたのかと思う。時間に余裕がある方がだらけて学習効率が下がったのかと分析。

司会の先生より「二人とも時間をとても大事に使っている。みんな1日に持っている時間は同じ。二人はすごく工夫して使っている。」

● 受験を振り返り感想を聞かせて下さい。

A: 小さい時から数学が大好き。難問に取り組んだり、数学にふれるのが楽しかった。出会った問題は疑問を残さないように、わからないところは徹底的に納得するまで調べた。本番に「これ、見たことのある問題だけど、何だったけ?」といった後悔を残したくなかった。予習して正答を見て、自分の考え方と違うところを知り、納得の行く解答を作っていた。勉強時間で区切るのではなく、何問解く、何ページ解くという目標をたてて勉強していた。

B: 中学の時から「数学のできる人」というまわりの評価があり、頑張らなくてはというプレッシャーもありつつ、数学好きになった。志望校はずっと E 判定だったが、「あきらめないこと」が大事。入試本番で 2 科目目がすごく難しく、あきらめて途中退場する人もいたが、自分は最後まで受験し合格できた。勉強は家でして、学校は友人たちと話したりとストレス解消する場になっていた。家族との関係も大切。(のびのび自由に入試に向かわせてくれた)

● 大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。また、入学前と印象の違いはありましたか？

A: 大学は楽しい！神奈総は理系の人が少なかったが、大学は理系の学校なので、理系の話で盛り上げられるのが嬉しい。放課後にキャンパス近くの店を探して食べに行くのも楽しい。大学では高校の知識は必須。大学で学びたいことは高校時にしっかり知識をつけておくべき。英語も文法は必須。

B: どうしても数学がやりたかったので、先に学部を決めてあとから大学を決めた。オープンキャンパスでは大学の授業の様子はわからない。オープンキャンパスでわかることは、家から通えるかどうか、取りたい授業があるかどうかなど。大学の授業には満足している。家から遠く、2 時間くらいかかるのが大変。理系は忙しく課題も多く出て忙しいが、サークルにも 3 つ入って充実している。課題は週末にまとめてやっている。(今日の会のために、今週の課題は昨日頑張ってやってきた！) 高校の学力も大切だが、大学に入ってまじめにやっていたらちゃんと力をあげることはできる。

● 現役生に伝えたいことがありましたら、是非お話し下さい。

A: 英単語・熟語の勉強は早めに取り掛かるように！3 年次には大学ごとの対策をやらないといけなくなるので。神奈総に入学したころは国際系に進もうかなと漠然と思っていたが、高 2 で理系に進むことを決意。進路はモチベーションを維持するためにも本当にやりたい分野を選ぶべき。高 3 の夏休み、予備校で 12 時間くらい勉強していた。くじけそうになった時、「昨日の自分より今日の自分は確実に成長した」と思えることを 1 つでも見つけるように自分に課した。

B: 健康管理は大切。自分は毎日 12 時には寝るようにしていた。あまり長時間の勉強は集中力が続かず、頭がクラクラしてきたので無理しなかった。頑張りすぎて直前に体調を崩す人もいると聞くので、夜遅くまで勉強するのはどうかと思う。基礎力を付けるために学校の定期試験や授業を大切に。勉強はリビングでやっていたので、多少騒がしい空間でも勉強に集中する習慣ができた。

● 質疑応答

Q:この先の進路はどのように考えていますか？

A:数学の教師になって数学の面白さを生徒たちに伝えたい。教師でなければ、大学で情報プログラミングも必修科目なので、プログラミング系や統計学の分野もあるかも。

B:好きなことをやりたくて選んだ学部、大学卒業後のことはあまり考えずに進学した。それが受験のモチベーションにつながると思っていたから。学部卒は教師になる人が多い。(自分も教職をとっているので今のところは教師)。院卒はメーカーや銀行が多い。

Q:受験情報の取得にオープンキャンパス、講演会、インターネットは利用した？

A:行きたいところがしぼられてきたので、直接先輩など知り合いから情報を得た。ネットは情報源が不明で正確かどうか分からないのであまり参考にしなかった。

B:利用しなかった。オープンキャンパスで先輩や教授と話したりしたが、あまり参考にならなかった。行きたい学科の設置校が少なかったなので、自ずとしぼられた。

以上